

2022年度 伏虎義務教育学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 古田清和

作成日 2022年 5月1日

別紙1-2

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・義務教育の修了時に自分の生き方をしっかり考えられる人になってほしい。
- ・子供が毎日楽しそうに学校に通ってほしい。
- ・自分の住む地域を知ってほしい。
- ・学校からのお便りやHPを充実させてほしい。

【学 校 教 育 目 標】

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

【めざす子供像】

心豊かで、思いやりのある優しい子供
進んで学び、しっかり考える子供
健やかに、たくましく生きる元気な子供

前年度の学校評価

- ・学校は子供と向きあって話しかけ、話のキャッチボールをたくさんしてほしい。
- ・教室内は綺麗で、子供たちは挨拶ができています。
- ・子供の頃から、タブレットを活用した学習や職場体験などキャリア教育は、将来に役立つ。
- ・感染症が終息したら、地域、各連合自治会などと協力して伏虎を盛り上げていきたい。

子供の実態

- ・時間を守って行動できている。
- ・優しい子供が多い。
- ・主体的に学習に取り組む姿勢がやや弱い。
- ・話し合い、意見をまとめる力がついてきている。
- ・テレビ等の視聴や携帯電話の使用時間が長い。

重点目標

進んで学び、しっかり考える子供

- 言語活動（ことばの力）の充実
- ◎「わかやま創造科」を要とする主体的・協働的・探究的な学習の充実
- ◎外国語教育、理数教育の充実

心豊かで、思いやりのある優しい子供

- 体験活動の充実
- 道徳教育・人権同和教育の充実
- ◎自主的・実践的活動の推進

健やかに、たくましく生きる元気な子供

- 特別支援教育の充実
- 基本的生活習慣の確立
- 健康安全教育の推進
- ◎キャリア教育・進路指導の充実

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 地域資源の活用推進
- 地域行事やボランティア活動への参加

具体的な取組

- 電子黒板やGIGA端末等のICT機器の有効活用を進める。
- 全教員が実践発表を行うとともに、授業の参観や協議を通して、学校全体の授業力向上を図る。
- 学校図書館の利活用を進め、学校全体で図書館を核にした読書活動を推進する。
- 「わかやま創造科」を通して、主体的に学ぶ力、協働的に学ぶ力、探究的に学ぶ力を養い、未来を切り拓く力を持った児童生徒を育成する。
- 1年生から外国語活動に取り組み、「生きて働く外国語」を身に付けさせる。
- 自分の考えや振り返りを大切に「考えノート」の活用する等、科学的、論理的なもの見方や考え方の基礎を養い、「理数教育」の充実を進める。

- 子供が主体的に活動できる魅力ある学習活動を通して、自己有用感の育成・向上に努める。豊かな人間関係を構築し、人権を尊重する態度を育てる。
- 全校一斉掃除を通じて、勤労の喜び、協働の大切さなど、力をあわせて生きることの大切さを身につける。
- 児童生徒会(6年生～9年生)の活動を通じて、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

- 子供の個性を全教職員で共有し、連続性と一貫性のある特別支援教育の充実を図る。
- 規律ある教育環境の中で、自らを律する力を高める。「時を守り、場を清め、礼を正す」を行動規範として実践する。
- 食育を通して、生涯にわたって健康や安全に留意できる態度や素地を養う。
- 子供が希望をもって、自立的に未来を切り拓いて生きていくことができるよう、組織的・系統的なキャリア教育を推進する。
- 地域における様々な職業人と関わる機会を積極的に設けるなど、将来の生き方に対するモデルを提示する。

- 各種便り、HPを通して積極的に学校の情報を発信する。

- コミュニティスクールと連携し、地域人材の協力を得ながら、学校教育の充実を図る。

- 地域で開催される行事やボランティア活動への参加を促し、公共心を高める。

指標

- ・毎日の勉強がわかる。(前期児童95%)
授業は楽しく分かりやすい。(後期生徒90%)
- ・話し合いを通じて考えを深め広げる。
(前期児童・後期生徒80%)
- ・資料や文章、話の組み立てを工夫して発表できる。
(前期児童・後期生徒80%)

- ・学校が楽しい。(前期児童・後期生徒95%)
- ・そうじを一生懸命している。
(前期児童・後期生徒90%)
- ・誰にでもあいさつができる。
(前期児童90%)
- みんな気持ち良いあいさつをしている。
(後期生徒85%)

- ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(前・後期保護者90%)
- ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。
(後期保護者80%)

- ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。
(前期・後期保護85%)